

## BSL 臨床実習の評価についてのコメント

最近、様々な理由で、実習の欠席の申請が増加しています。  
このことに対し、救急医学講座としての見解をお知らせします。

### シラバスに記載した評価方法

「実習状況は病棟担当医・ER 担当医・研修医を通して担当指導医にモニターされ、担当指導医からコース責任者へレポートされます。

出席状況・実習態度および回診時のプレゼンテーションが評価対象になります。

知識に関しては、金曜日に実施される症例発表会で確認します。レポートは受け持ち患者のサマリーを記載し、翌週月曜日までに医局に提出してもらいます。

出席・実習状況 50%、プレゼンテーション・レポート 50%の配分で担当指導医が評価しコース責任者が最終評価を実施します。」

とあります。

原則としてすべての実習日に参加しなければならず補講は行いません。

公休が認められるのは、病欠と忌引きのみで、その際は保健管理センターや診断書など、何らかの証明書を必要とします。

課外活動が理由の場合は、欠席扱いとなります。他科で学会発表を行うために欠席する場合も欠席扱いとなります。

金曜日にプレゼンがあるため、金曜日が欠席日となる場合は、予定されたプレゼンテーションを印刷（もしくはPDFなどのデジタルメディアでも可）し、あわせて発表内容をまとめたレポートを木曜日までに manaba 上もしくは医局に直接提出してください。

救急医学講座 責任者 岡田 基